

□議員名：長谷川知司

1 いじめや不登校児童・生徒の支援について

論点	教育委員会及び学校、学級での体制は、十分と考えているか。 特に、不登校状態の児童生徒の居場所づくりや支援体制を聞く。
回答	問題の9割以上は、担任や学校で対応しているが、どうしても「心の支援室」や「フリールーム」が必要な児童生徒もいる。 今後も、一人ひとりの状況に合わせたきめ細かい指導が行えるように配慮していきたい。

2 市総合計画の基本構想のうち、JR小野田駅周辺の活性化について

論点	商業振興や都市基盤の充実等を行い、活気と活力のある中心市街地の充実を図るとあるが、その手法について成果を含め確認したい。
回答	地元や商工会議所と共に、共同施設設置補助やイベント支援等で若い経営者育成や商業振興を勧めている。区画整理等ハード面は、様々な事業手法を再検討し、早期完了を目指していきたい。 今後も、市から積極的に地元に投げかけていきたい。

3 ことばの教室について

論点	ことばの面で、ひとりひとりに応じた指導が必要な子どもたちに行っている個別指導や相談の実態を聞く。
回答	待機幼児は5名。幼児部の教室を増設し、待機児童を解消したい。 教材についても、必要な経費は市で負担している。 今後も、親の不安を取り除き、年少の早いうちから処置が取れるように、相談体制、教材、施設等を拡充するよう努力する。